

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

274

友ヶ島管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	4	観光の稼ぐ力の強化
施策	1	観光客受入体制の整備
取組方針	3	観光資源の魅力向上

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	観光振興費		
	大事業	観光振興事業		
	中事業	友ヶ島管理事業		

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	観光課	岩坂 真弓 435-1234
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か) 来島者への安全・安心・快適な島内環境づくりを図っていく。			全体事業概要 瀬戸内海国立公園指定の友ヶ島の維持管理を行う。		
	事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
○パイオトイレ維持管理 ○松くい虫の予防 ○友ヶ島の清掃・維持管理の委託 ※パンフレット・ポスター等の印刷は和歌山市観光協会に移管		○島内パイオトイレの維持管理 ○島内各施設の維持管理 ○松くい虫の予防 ○友ヶ島の清掃・維持管理の委託	島内パイオトイレの維持管理、島内各施設の維持管理、松くい虫の予防、友ヶ島の清掃・維持管理の委託	島内パイオトイレの維持管理、島内各施設の維持管理、松くい虫の予防、友ヶ島の清掃・維持管理の委託	島内パイオトイレの維持管理、島内各施設の維持管理、松くい虫の予防、友ヶ島の清掃・維持管理の委託	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	21,037	23,452	21,053	24,916	23,621	22,433	24,386	0	24,386	0	
伸び率(%)	△2.8%	12.2%	0.1%	6.2%	12.2%	△10%	3.2%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	13,081	15,394	15,425	12,548	12,726	12,484	12,484	0	12,484	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	13,081	15,394	15,425	12,548	12,726	12,484	12,484	0	12,484	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	917	893	916	893	920	895	954	0	954	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	619	643	642	643	640	642	648	0	648	0	
一般財源(税等)	19,501	21,916	19,495	23,380	22,061	20,896	22,784	0	22,784	0	
所要人数(人)	正規職員	1.64	1.93	1.93	1.57	1.58	1.55	1.55	0.00	1.55	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	管理委託料18,236千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
観光パンフレット配布数		枚	目標値	80000	90000	90000	90000	90000
			実績値	84000	92000	90000		
			達成度(%)	105%	102.2%	100%	%	%
友ヶ島来客数		人	目標値	64000	68000	71600	75280	78960
			実績値	86329	67920	62385		
			達成度(%)	134.9%	99.9%	87.1%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	友ヶ島には歴史的な建造物が数多くあるとともに瀬戸内海国立公園に指定されているなど、すばらしい自然も魅力である。適切な維持管理を通じて、来島者に安全、安心、快適な島内環境づくりを図っていく。
見直し・改善内容	施設の現状把握に努め、計画的に事業を執行していく。